



平成25年6月21日（金）

国土交通省 関東地方整備局

甲府河川国道事務所

記者発表資料

平成25年度甲府河川国道事務所の事業概要

【河川事業】 身延町切石地区・手打沢地区の築堤護岸整備に着手します。

【道路事業】 国道20号 竜王拡幅について、今年度内に全線開通します。

国道52号 上石田改良について、今年度内に部分開通します。

甲府河川国道事務所では、河川事業として、富士川、釜無川及び笛吹川等の計122kmの維持管理、浸水被害解消のための築堤護岸等の整備等を、道路事業として中部横断自動車道（富沢～六郷）の整備のほか、国道20号、52号、138号、139号の計258kmの維持管理、道路拡幅、バイパス事業及び交通安全対策等を行っています。

平成25年度は、約279億円（※）で事業を実施します。（※）維持管理費、業務取扱費等を除く主な事業は、下記のとおりです。

《主な事業内容》

【河川事業】

■富士川河川環境整備事業

・富士市雁堤・木島地区の環境整備事業が完成します。

【道路事業】

■改築事業

・中部横断自動車道（富沢～六郷）では、新たに和田トンネルに着手します。引き続き、全線に渡り工事等を実施します。

【開通の見通し】

・中部横断自動車道富沢IC（仮称）～六郷IC（仮称）間 28.3km 「平成29年度」 開通予定
・国道20号 竜王拡幅（甲斐市竜王～甲斐市下今井） 1.7km 「平成25年度」 開通予定
・国道52号 上石田改良（甲府市上石田～甲府市寿町） 0.8km 「平成25年度」 開通予定

■交通安全事業

・国道139号 本栖地区歩道整備他2箇所の事業に新規着手します。

■電線共同溝事業

・国道20号 甲斐電線共同溝事業 他1箇所の事業に新規着手します。

※本資料の内容は、甲府河川国道事務所のホームページでも確認できます。

URL - <http://www.ktr.mlit.go.jp/koufu/>

甲府河川国道



発表記者クラブ

山梨県政記者クラブ、静岡県政記者クラブ、神奈川建設記者会、竹芝記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局 甲府河川国道事務所

地域広報官（副所長：河川） 小池 栄史
工務第一課長 伊藤 一十三
地域広報官（副所長：道路） 小幡 宏
工務第二課長 水川 靖男

055-254-6571
（計画課）

目 次

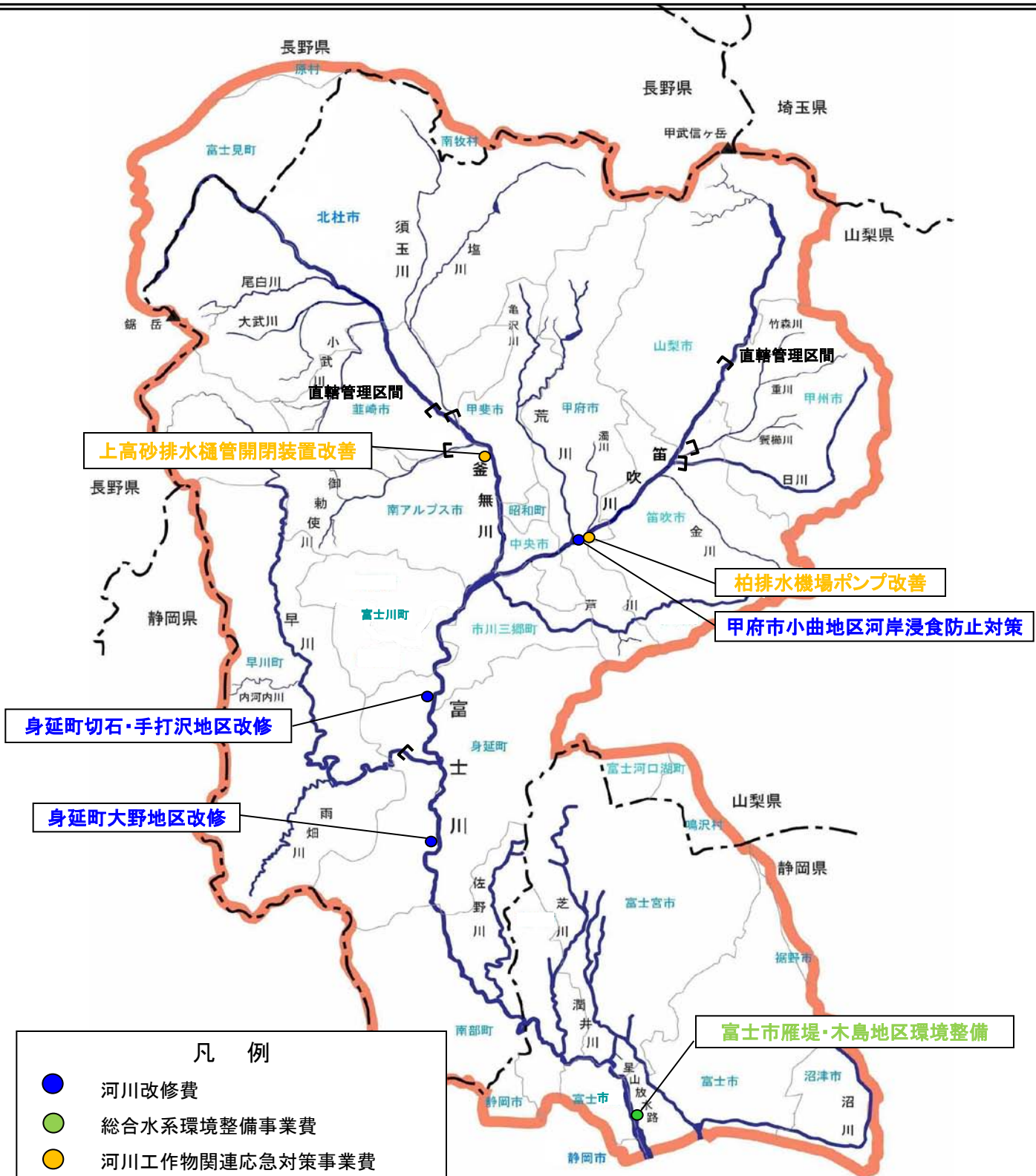
【河川事業】

管内図（河川）	3
事業費（河川）	4
身延町切石・手打沢地区改修	5
身延町大野地区改修	6
甲府市小曲地区河岸浸食防止対策	7
富士市雁堤・木島地区環境整備	8
維持管理	9
河川工作物関連応急対策（老朽化対策）	11
防災学習・環境学習の取り組み	12
参考資料	
実施箇所位置図	14
H24補正予算等による	
河岸浸食対策，河川堆積土砂掘削	15

【道路事業】

管内図（道路）	16
事業費（道路）	17
中部横断自動車道（富沢～六郷）	18
国道20号 新山梨環状道路（北部区間）	19
国道20号 大月バイパス	20
国道20号 竜王拡幅	21
国道52号 上石田改良	20
国道138号 新屋拡幅	23
国道139号 都留バイパス	24
国道52号 鰍沢地区歩道整備	25
国道139号 本栖地区歩道整備	26
国道139号 大田和交差点歩道整備	27
国道138号 山中湖自転車歩行者道整備	28
国道20号 甲斐電線共同溝	30
上石田電線共同溝	31
富士北麓電線共同溝・富士北麓（2）電線共同溝	32
維持管理	33

管内図(河川)



事業費(河川)

(単位:百万円)

事業名		事業費
河川改修費	身延町切石・手打沢地区改修 身延町大野地区改修 甲府市小曲地区河岸浸食 防止対策	964
総合水系環境整備事業費	富士市雁堤・木島地区 環境整備	26
河川工作物関連 応急対策事業費	上高砂排水樋管開閉装置改善 柏排水機場ポンプ改善 等	242
合 計		1,232

※上記のほか、河川維持費、業務取扱費等がある。

みのぶちよう きりいし てうちざわ ち く かいしゅう
身延町切石・手打沢地区改修

【山梨県】直轄

事業の概要

身延町切石・手打沢地区は、旧中富町役場、現身延町役場があり、災害時には町の中核機能として機能する一方で、S34洪水、S57洪水では無堤部及び暫定堤防の為、外水氾濫を生じています。

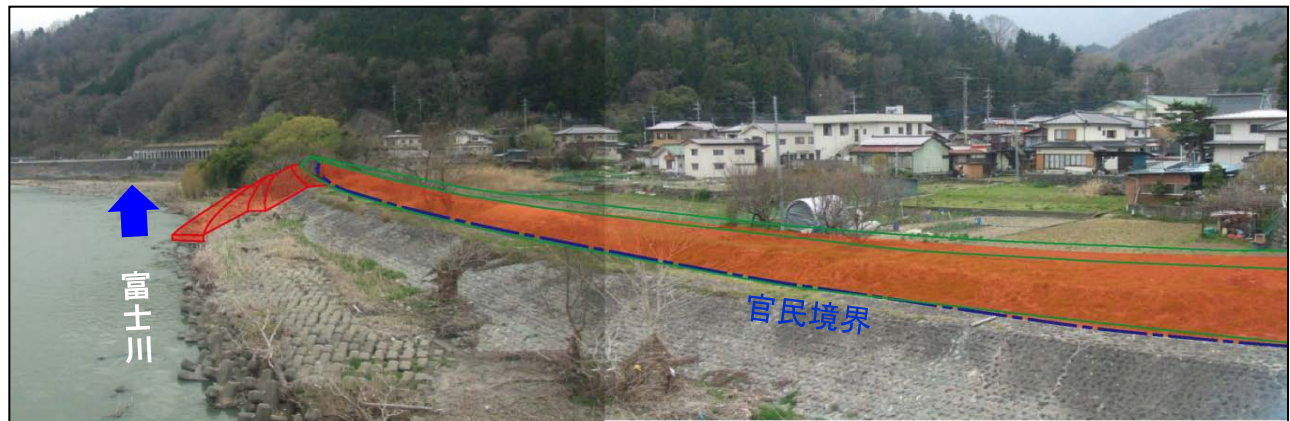
富士川河川整備計画では、S57災の中流部における実績浸水箇所を下流側地区より順次、着実に進め、本年をもって下流側の身延町大野地区が完成を迎えることから、次期地区として切石・手打沢地区の築堤護岸に着手します。

平成25年度予定

切石地区の用地取得・家屋等の補償を実施するとともに、築堤護岸を実施する予定です。

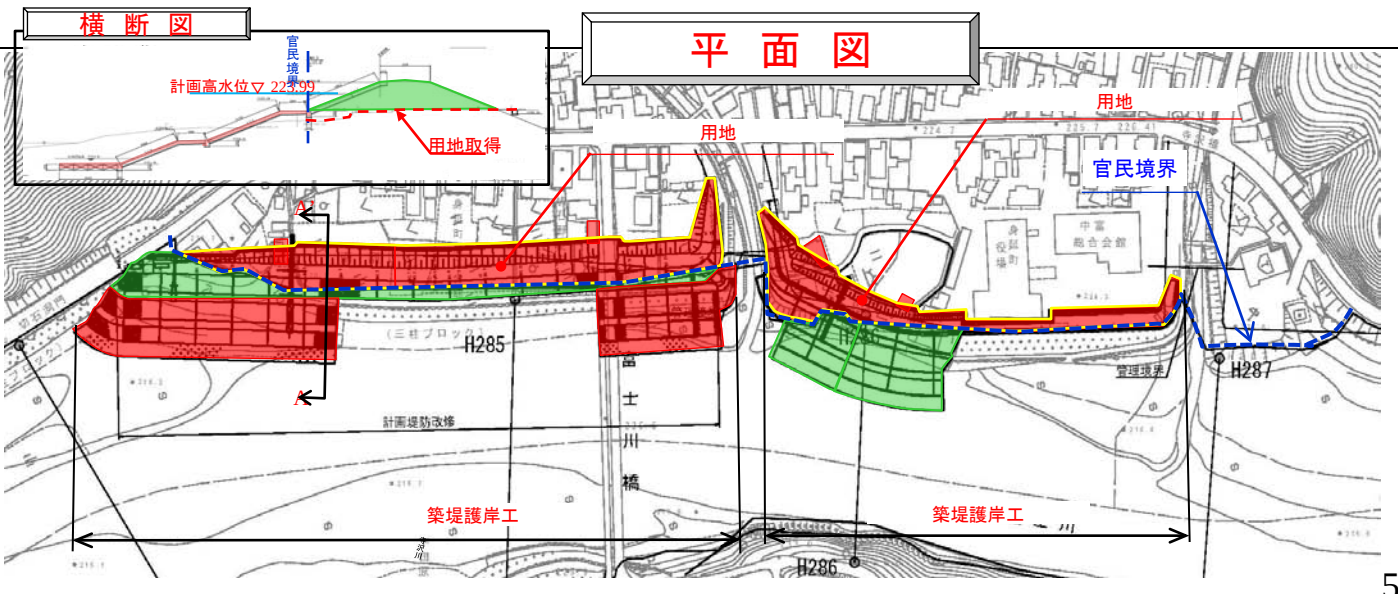
事業の効果

無堤防地区の築堤護岸等を整備し、戦後最大降雨(昭和57年洪水)による実績浸水被害の解消を図ります。



横断図

平面図



事業の概要

身延町大野地区は、日蓮宗の総本山である身延山久遠寺参拝の玄関口、船着き場として栄えた地区で、S34洪水、S57洪水では無堤部の為、外水氾濫を生じています。

当地区の前後、対岸区間は、山間狭隘部で生活道路の国道・県道が降雨に伴う雨量規制区間となっており、洪水時には陸の孤島となるため地区外からの水防活動、救援活動等が困難となります。また、無堤になっている他、氾濫原には病院などの重要施設も存在します。

このため、H13年度より実績浸水地の解消のため、築堤護岸工事に着手し、H24年からは最後の締め切りとなる支川樋管工事(新設)に着手し、H25年を持って一連区間の改修事業が完成します。

【全体計画】

事業箇所：山梨県南巨摩郡身延町大野地先

事業内容：築堤護岸L=1,140m、排水樋管1箇所、堤外水路

全体工期：平成13年度～平成25年度

平成25年度予定

一連区間の築堤の最終事業としてH24から二カ年国債で樋管新設工事を実施中で、樋管及び築堤護岸を実施。

事業の効果

無堤防地区の築堤護岸及び樋管等を整備し、戦後最大降雨による実績浸水被害の解消を図ります。



事業の概要

富士川、笛吹川は、急流河川で流速が早く、さらに河道の変化点や二極化を生じやすい区間では滞筋の変動、移動を生じやすく、小規模な洪水でも堤防や河岸を急激に洗掘する流れが生じやすい。近年では、釜無川の浅原地区（H15年、H23年）、笛吹川の小石和地区（H23年2箇所）で堤防が急速に侵食される事象が発生し、緊急復旧を行っている。

こうした中、平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検を行った結果より、侵食が進んでいる小曲地区において、河岸侵食防止対策事業に着手する。本地区は、H23洪水での侵食以降、臨時的防止対策として根固めブロックの投入等を実施してきたが、さらなる侵食が確認されていることから、本設の護岸工に着手するものである。

平成25年度予定

堤防防護の河岸侵食防止対策として護岸工を実施する予定です。

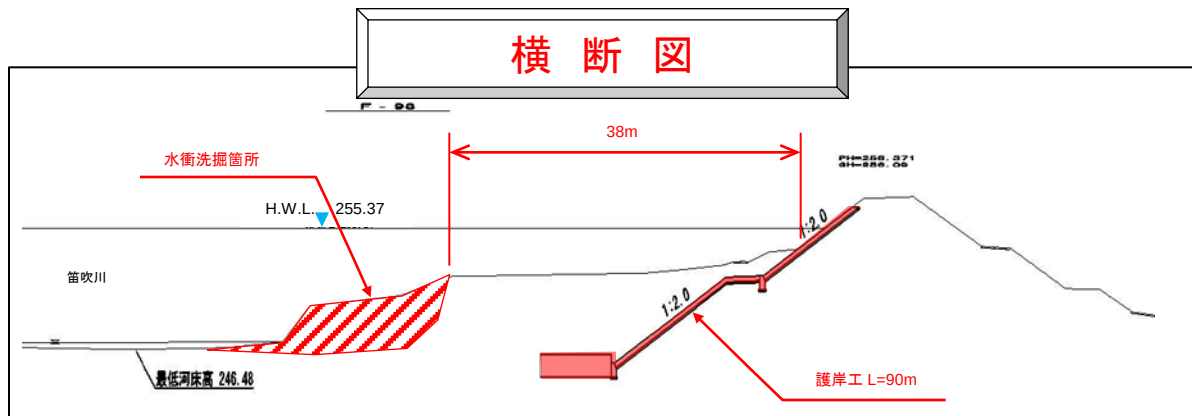
事業の効果

護岸を整備し、堤防の侵食防止を図り、破堤はん濫被害の解消を図ります。

現況写真



横断図



事業の概要

本事業の当地区は富士川下流部に位置し、広大な礫河原が広がる自然豊かな河川景観となっている。左岸側には、富士川を代表する歴史的な治水施設である「雁堤(かりがねつつみ)」があり、伝統行事の「かりがね祭り」が毎年行われるなど、地域住民に親しまれている箇所である。

平成20年11月に富士川町・富士市が富士川を挟んで合併し、(新)富士市では当該地区を「富士川ふれあいエリア」と位置づけ、雁堤の歴史・文化を学び、自然豊かな水辺環境で憩える場として利用を推進する予定である。

そこで、その構想に基づき、水辺に近づけるよう管理用通路、低水護岸等、を実施する。

平成25年度予定

平成25年度は、管理用通路の整備を実施する予定です。

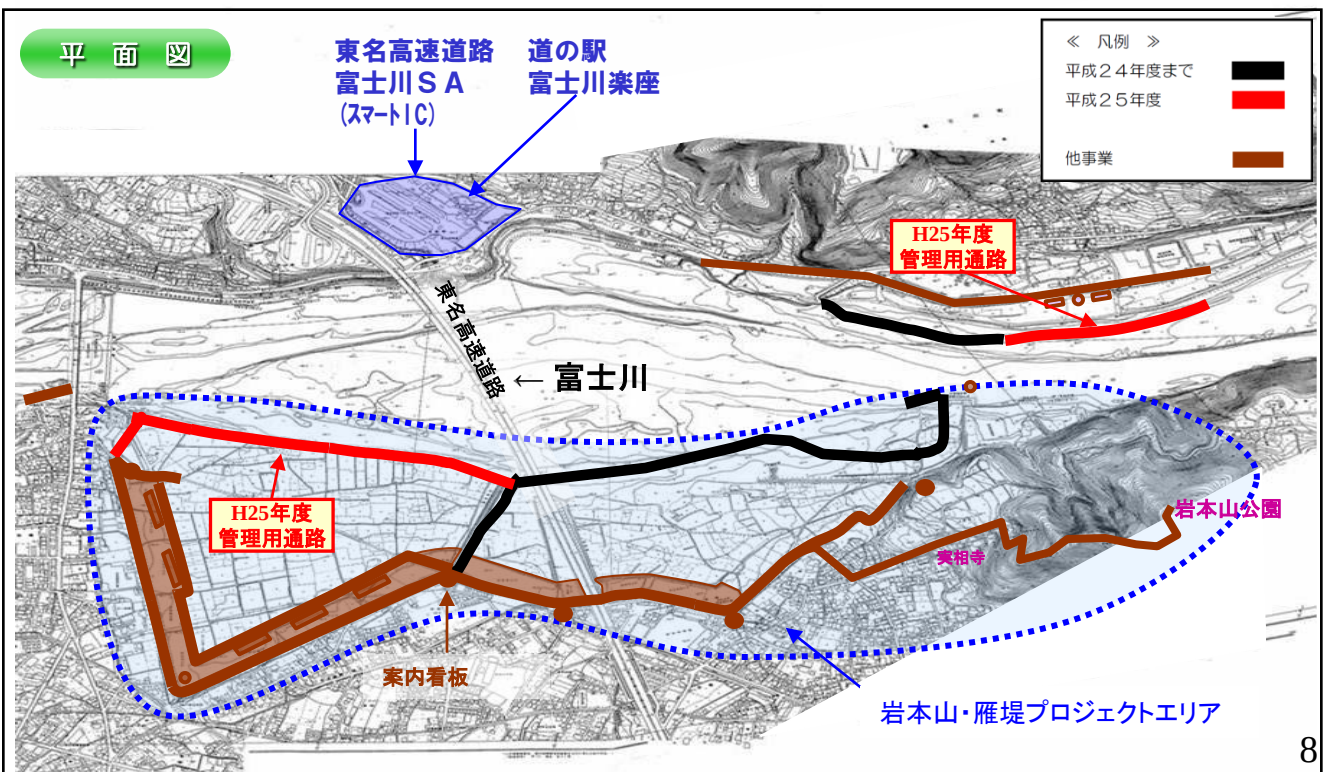
位置図



事業の効果

富士川の水衝部における対策工としての護岸整備や、河川管理機能の向上が図れる通路を整備する事により、治水的効果の向上と相まって、河川環境の向上も図られます。

平面図



維持管理(1)

【事業の概要】

富士川は長野・山梨・静岡の3県にまたがる流域面積が3,990km²、幹線流路延長が128kmの一級河川でそのうち甲府河川国道事務所で管理する延長は、富士川及び釜無川、笛吹川等合わせて122.1kmです。

沿川住民が安心して生活でき、多くの人々から親しまれる河川とするために堤防、護岸、河川構造物等の河川管理施設の維持・管理や堤防除草、河川巡視や定期的な点検等を実施しています。

【平成25年度の予定】

○日常管理

- ・ 堤防・護岸や排水機場等の河川管理施設の維持・管理を行います。
- ・ 堤防の状態を点検・把握するために堤防除草を実施します。
- ・ 川の機能が正常に保たれているか、また堤防や水門などに異常がないかなど、管内の河川巡視を実施します。

堤防点検



河川管理施設の点検



堤防除草



河川巡視



いじかんり
維持管理(2)

○緊急時の対応

- ・洪水や地震が発生した場合は、堤防や護岸、樋門、排水機場などの状況を確認し、被災に対して迅速に対応します。

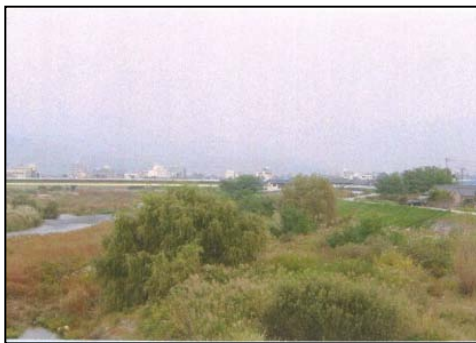


出水中の状況把握により川岸の浸食箇所を発見。

浸食の進行を抑えるために、緊急的に根固めブロックを投入。

○河川の機能を維持するための工事

- ・河川内に繁茂した樹木により、洪水時の安全な流れの阻害となったり、河川状況の把握など河川管理上支障となる樹木について伐採を行います。
- また、土砂の堆積により流れの阻害が著しい箇所では、土砂の掘削を行うことにより洪水等の流水を安全に流します。



樹木伐採



河道内に著しく繁茂した樹木により、洪水時に水が流れにくくなる。

樹木伐採により、洪水時における流下断面を確保し、洪水を安全に流下させます。

かせんこうさくぶつかんれんおうきゅうたいさく
河川工作物関連応急対策

H25年度事業費：2.42億円
【山梨県】直轄

【事業の概要】

河川管理施設について長期間の供用により老朽化が著しく、維持管理性が低下した設備の改善措置や機能向上を目的とした設備の改善措置を行います。

【平成25年度の予定】

平成25年度は、上高砂排水樋管^{かみたかすな}の開閉装置改善、柏排水機場^{かしわはいすいきじょう}のポンプ改善等を実施します。

【事業の効果】

老朽化した施設の機能の回復・向上及び維持管理性の向上を図ります。



金無川

信玄橋

上高砂排水樋管



現状

簡易電動開閉機
(スピンドル式)



更新後イメージ

電動ラック開閉機

(現状)→(更新後)
・開閉装置の改善により、開閉操作に要する時間を短縮



柏排水機場

中央道 甲府南IC

笛吹川

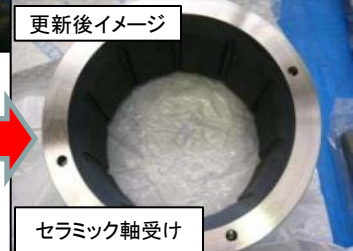


排水機場全景



現状

ゴム軸受け



更新後イメージ

セラミック軸受け

主ポンプ

内部拡大

(現状)→(更新後)
・ポンプの改善により、信頼性及び耐久性が向上

ぼうさいがくしゅう かんきょうがくしゅう 防災学習・環境学習の取り組み

【概 要】

甲府河川国道事務所では、防災学習や環境学習の一環として「出前講座」や「住民参加の水質調査」に取り組んでいます。

【出前講座】

出前講座は、「国土交通省の事業の必要性や、それらに対する取り組みを伝えること」、「国民とのコミュニケーションを図ること」などを目的に実施しているものです。

甲府河川国道事務所では、現在、行っている事業や防災・環境への取り組みについて、小中学校の総合学習や市民の生涯学習の場へお伺いし説明する出前講座を実施しています。

平成24年度は、小学生を中心に10団体、延べ約550名に対して出前講座を実施しました。今年度も引き続き実施します。

【住民参加の水質調査】

甲府河川国道事務所では富士川において、身近な川の水質や環境について理解頂くことを目的に、流域のみなさんに参加を募り、簡易水質測定用具を用いて水質を調べる「富士川一斉水質調査」や、沿川の小中学校に協力して頂き、富士川に住んでいる水生生物を指標として水質の状況を確認する「水生生物による水質簡易調査」など住民参加型の調査を行っています。

平成24年度は、前年同様に、延べ約840名の参加により実施されました。今年度も引き続き実施します。

【平成24年度に実施した出前講座】



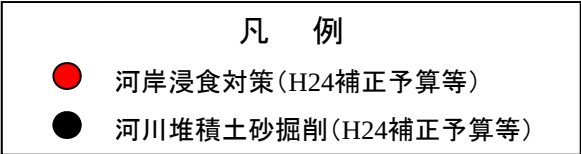
【平成24年度に実施した水生生物調査】



参考資料

**(H24年度補正予算等による
河岸浸食対策・河川堆積土砂掘削)**

実施箇所位置図



かがんしんしょく たいさく かせん たいせき どしゃ くっさく ふっ こう ほうさい たいさく
 河岸浸食対策・河川堆積土砂掘削(復興・防災対策)

河岸浸食対策

【事業の概要】

「平成24年7月の九州の豪雨災害等を踏まえた堤防の緊急点検結果(平成24年9月)」において、水衝部等の河岸侵食に対する安全性が低いとされた箇所について、H24補正予算等により、緊急的に侵食対策を実施し、早期に地域の安全性の向上を図ります。

【事業の効果】



川岸の浸食が進行し、堤防や背後の居住地等が危険となる。

護岸の構築により、浸食を防止し、背後地の安全を確保する。

河川堆積土砂掘削

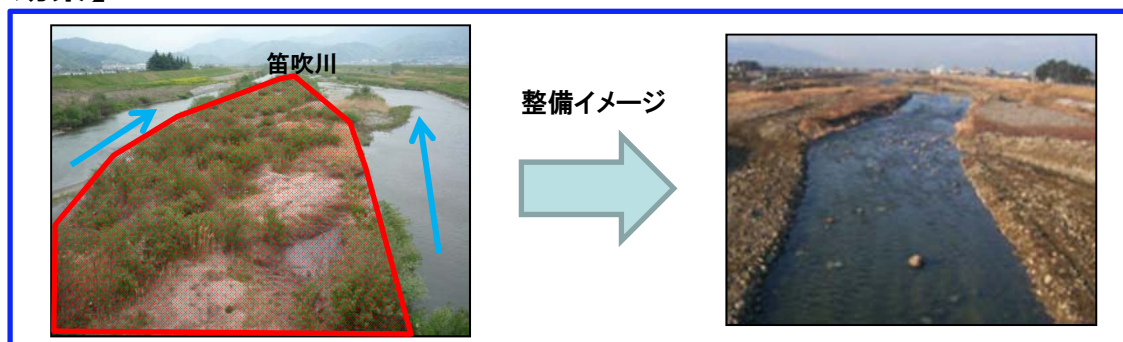
【事業の概要】

笛吹川本川では土砂が堆積し中州となり、洪水時に流れの阻害となるとともに偏流などにより河岸浸食などの堤防への影響が懸念されています。

また、笛吹川との合流点付近の芦川では、洪水等により堆積した土砂により河道が閉塞しており洪水時において流れの阻害となっています。

このため、堆積土砂の掘削を行うことにより、洪水時の流水を安全に流します。

【事業の効果】



川の水が流れにくく、堤防に向かって流れたりしてしまう。

掘削により、流水の断面を確保し、安全に水を流下させる。

事業費(道路)

(単位:百万円)

事業名		事業費
改築事業	中部横断自動車道(富沢～六郷)	24,650
	国道20号 新山梨環状道路(北部区間)	23,400
	国道20号 大月バイパス	200
	国道20号 竜王拡幅	300
	国道20号 竜王拡幅	130
	国道52号 上石田改良	400
	国道138号 新屋拡幅	70
	国道139号 都留バイパス	150
交通安全事業	国道138号 山中湖自転車歩行者道整備(主たる事業箇所) 他10箇所	1,697
電線共同溝事業	国道20号 甲斐電線共同溝(主たる事業箇所) 他4箇所	710
合 計		27,057

※上記のほか、維持管理費、調査費、業務取扱費等がある。

中部横断自動車道(富沢～六郷)

H25年度事業費:234.0億円

【事業の概要】

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を經由し長野県小諸市に至る延長約132kmの高速自動車国道です。

山梨県区間の(仮称)富沢IC～(仮称)六郷ICの28.3kmについては、平成17年度より直轄事業として事業に着手し、平成29年度の開通を予定し事業を進めています。

事業効果として、中部横断自動車道が整備されることにより、現在整備が進められている新東名をはじめ、中央自動車道、上信越自動車道が接続され、日本海及び太平洋の臨海地域と長野・山梨県との連携・交流を促進するとともに、沿線の方々が安心して暮らせるネットワークの構築、物流体系の確立や広域的観光ゾーンの開発・支援等に寄与するものと期待されます。

事業箇所: 山梨県南巨摩郡南部町～西八代郡市川三郷町

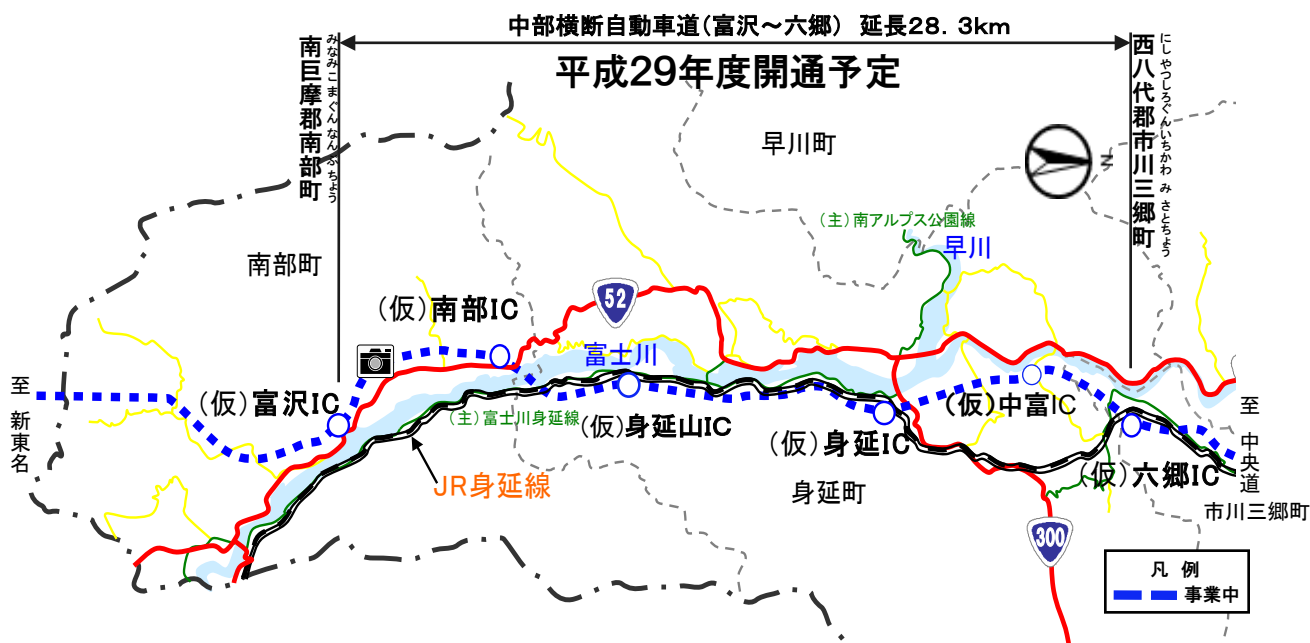
延長:28.3km



南部町楮根地区 (田中川橋(仮称))
平成25年5月撮影

【平成25年度の予定】

平成25年度は、新たに和田トンネルに着手するなど、引き続き全線に渡り工事を実施するとともに、道路設計、用地買収を実施します。



国道20号 しんやまなしかんじょうどうろ ほくぶくかん 新山梨環状道路(北部区間)

H25年度事業費:2.00億円

【事業の概要】

しんやまなしかんじょうどうろ ほくぶくかん こうふ
新山梨環状道路(北部区間)は、甲府中心市街地から半径およそ5km～7kmの位置に計画された総延長約40kmの環状道路の一部をなす国道20号のバイパス事業です。

事業箇所:山梨県甲斐市牛句～甲斐市宇津谷

延長:5.0km

事業効果として、しんやまなしかんじょうどうろ ほくぶくかん こうふ
新山梨環状道路(北部区間)が完成することにより、甲府中心市街地の通過交通の排除や流入交通の適切な分散により、国道20号や(主)甲府韮崎線など甲府圏域内の幹線道路の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和が見込まれます。

【平成25年度の予定】

平成25年度は、道路設計、環境調査を実施します。



国道20号 おおつき 大月バイパス

H25年度事業費:3.00億円

【事業の概要】

国道20号^{おおつき}大月バイパスは、大月市街地の交通混雑緩和や交通安全性向上を目的としたバイパス事業です。

平成22年度までに大月市駒橋^{こまはし}～大月二丁目^{おおつき}(国道139号)間の延長1.7kmが開通しています。

事業箇所:山梨県大月市駒橋^{こまはし}～大月市大月町花咲^{はなさき}

延長:3.2km

事業効果として、大月バイパスが完成することにより、大月市中心部を通過するだけの交通の排除などにより交通渋滞の緩和が図られます。また、すでに開通している大月市駒橋～大月二丁目(国道139号)間では、大月橋東詰交差点における渋滞緩和や現道の走行速度の向上、通学路などの裏道交通量の減少による安全性の向上などの効果が見こまれます。

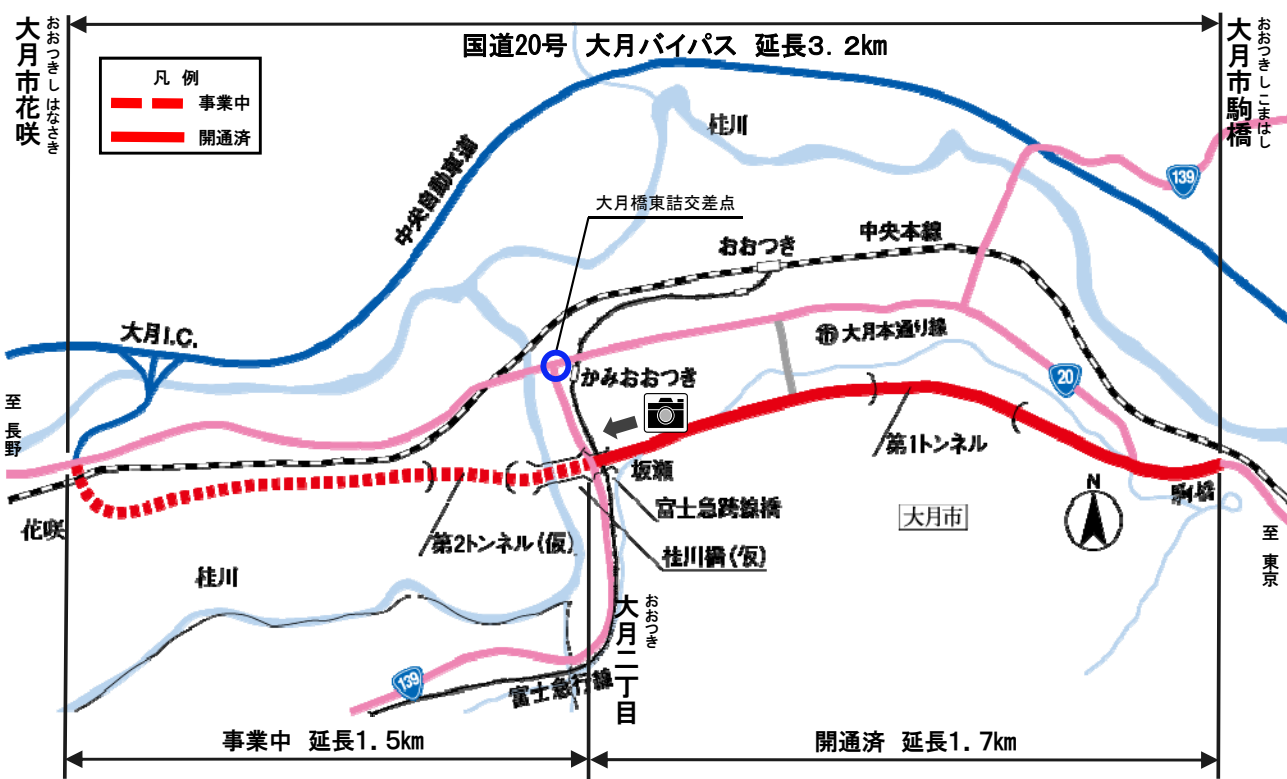
【平成25年度の予定】

平成25年度は、桂川橋下部工事、JRアンダーボックス工事及び道路設計、花咲地区の用地買収を実施します。

なお、大月バイパスの開通見通しについては、用地取得に一定の進捗が見られるものの、用地取得に関する調整等の課題により確定しておりません。今後、用地取得に関する調整等の見通しが明らかになった時点で公表いたします。



工事区間(長野方面を望む)
平成25年6月撮影



国道20号 竜王拡幅

H25年度事業費: 1. 30億円

【事業の概要】

国道20号竜王拡幅は、甲斐市～韮崎市にかけての交通混雑緩和や交通安全性向上を目的とした道路拡幅事業です。

平成22年度までに甲斐市竜王地先の延長1. 7km、甲斐市下今井～韮崎市栄一丁目間の延長3. 3kmが開通しています。

事業箇所: 山梨県甲斐市竜王～韮崎市栄一丁目

延長: 6. 7km

事業効果として、竜王拡幅が完成することにより、車線数増加による国道20号の朝夕の慢性的な交通渋滞の緩和や歩道整備による交通安全の確保が図られます。



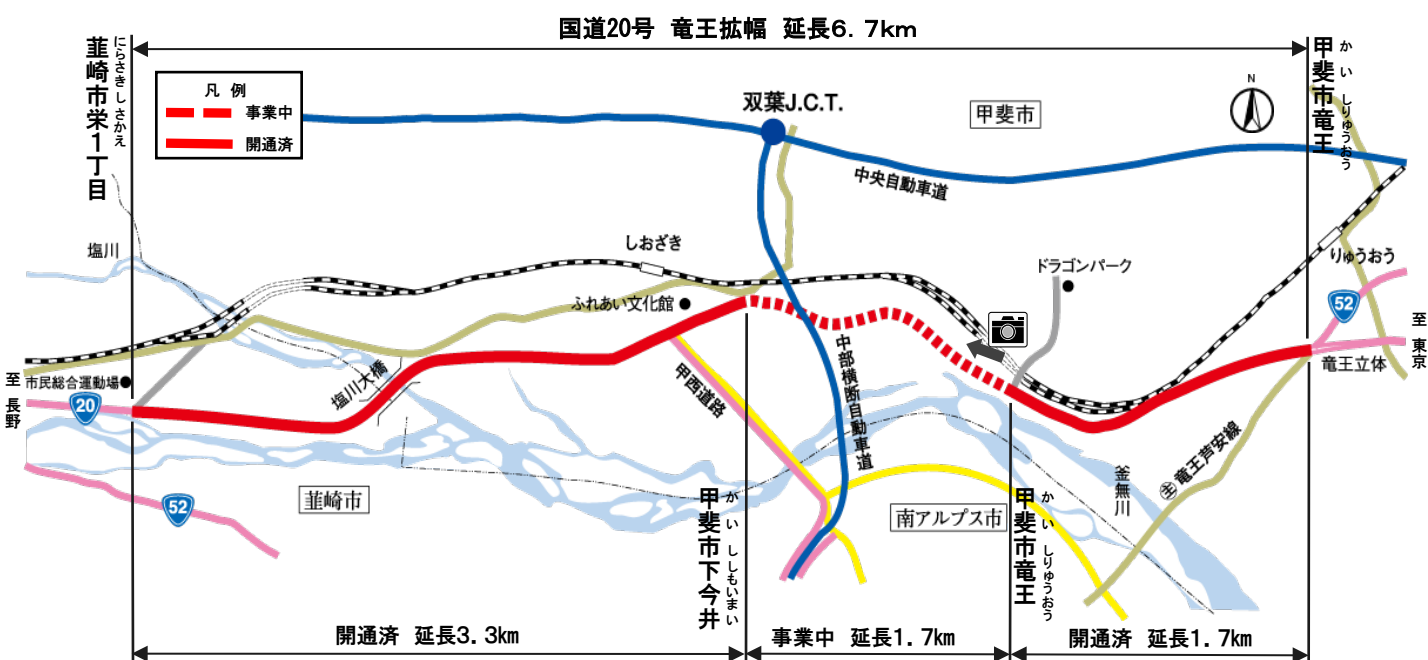
【平成25年度の予定】

平成24年補正予算により、双葉地区舗装工事を実施するとともに、平成25年度は、下今井地区舗装工事実施します。

また、甲斐市竜王から甲斐市下今井までの延長1. 7kmについて、平成25年度内の開通を予定しています。



双葉地区の工事状況(長野方面を望む)
平成25年1月撮影



【事業の概要】

国道52号上石田改良は、甲府市街地の交通混雑緩和や道路線形の改良等による交通安全性向上を目的とした、道路拡幅事業です。

事業箇所: 山梨県甲府市富竹一丁目～山梨県甲府市寿町
延長: 1.0km

事業効果として、上石田改良が完成することにより、線形の悪い箇所の改善や右折レーンの設置、歩道設置等による交通安全の確保や慢性的な交通渋滞の緩和が見込まれます。



【平成25年度の予定】

○甲府市富竹一丁目～甲府市上石田一丁目
(延長0.25km)

【区間①】平成25年度は道路設計、富竹地区の用地買収を実施します。

○甲府市上石田一丁目～甲府市寿町
(延長0.75km)

【区間②】平成25年度は、荒川橋等上部工事、舗装工事及び道路設計を実施します。また、平成25年度内の部分供用を予定しています。



荒川橋(仮称)の施工状況(甲府方面を望む)
平成25年4月撮影



国道138号 新屋拡幅

H25年度事業費:0.7億円

【事業の概要】

国道138号新屋拡幅は、富士吉田市内の2車線区間における交通渋滞の緩和や交通安全の確保を目的とした道路拡幅事業です。

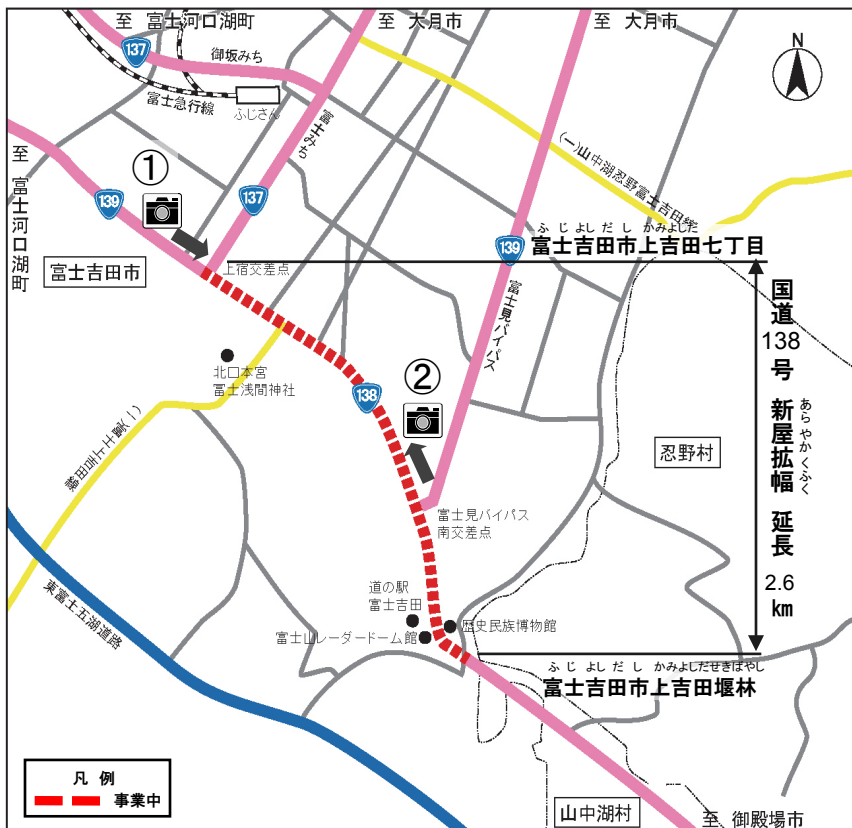
事業箇所: 山梨県富士吉田市上吉田七丁目～上吉田堰林
延長: 2.6km

事業効果として、新屋拡幅が完成することにより、国道138号新屋拡幅区間における慢性的な交通渋滞の緩和や、歩道整備による交通安全の確保が図られるとともに、災害時の避難路としての機能も確保されます。



【平成25年度の予定】

平成25年度は、道路設計を実施します。



【上宿交差点付近の交通状況】
平成23年8月撮影



【富士見バイパス南交差点付近の交通状況】
平成23年8月撮影

国道139号 都留^{つる}バイパス

H25年度事業費:1.50億円

【事業の概要】

国道139号都留バイパスは、都留市内の幅員狭小区間やクランク箇所の交通混雑緩和と交通安全の確保を目的としたバイパス事業です。

平成22年度までに、(主)都留道志線から(県)四日市場
上野原線までの延長5.6kmが開通しています。

事業箇所：山梨県都留市十日市場～都留市田野倉

延長: 8.0km

事業効果として、都留バイパスが完成することにより、現道の狭小区間の交通渋滞の緩和を図り、歩道未整備区間の通行安全性の向上が見込まれます。



上谷地区の交通状況
(大月方面を望む)
平成25年2月撮影

【平成25年度の予定】

平成25年度は、上谷地区改良工事及び道路設計を実施します。



国道52号 かじかざわ ちく ほ どう せい び 鰺沢地区歩道整備

H25年度事業費:0.48億円

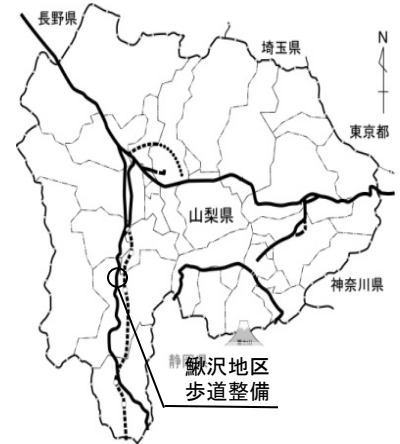
【事業の概要】

国道52号の鰺沢地区は、近傍に小学校があり、一部区間が通学路に指定されているが、歩道が未整備のため、通学児童等の歩行者の安全が確保されていない状況です。本事業は、歩行者が安全に通行できる歩行空間の確保のため、歩道の整備を行います。

事業箇所: みなみこま ふじかわ かじかざわ 山梨県南巨摩郡富士川町鰺沢

延長:0.9km

事業効果として、当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行空間の連続性が確保され、通学児童や歩行者の安全・安心の向上が見込まれます。

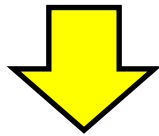
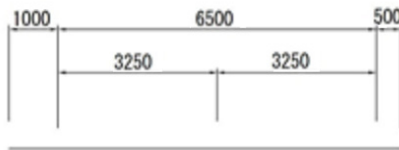


【平成25年度の予定】

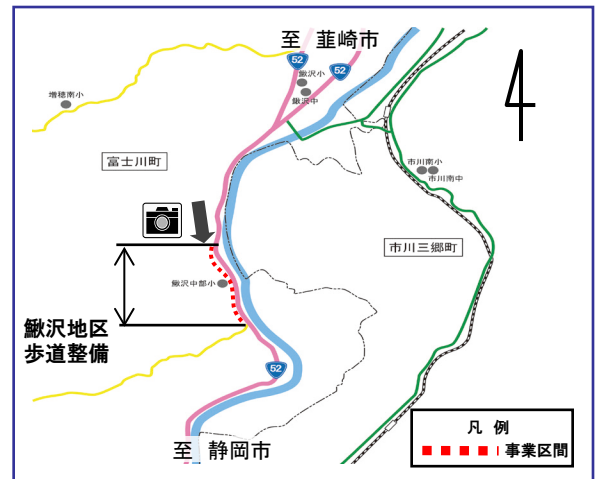
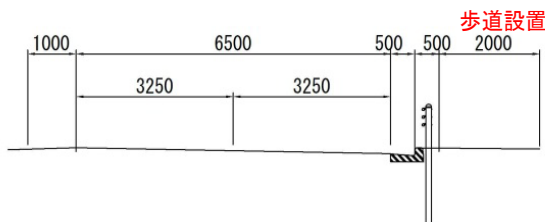
平成25年度に新規事業化。本年度は調査設計及び用地買収を実施します。

■断面図

【現況】



【計画】



■鰺沢地区の交通状況



富士川町鰺沢地先 [平成24年11月撮影]

国道139号 本栖地区歩道整備

H25年度事業費:0.96億円

【事業の概要】

国道139号の本栖地区は、観光地でありハイキング等に利用されている地域ですが、道路線形が曲線で歩道が未整備であるため、歩行者・自転車利用者の安全が確保されていない状況となっています。本事業は、歩行者の安全に通行できる歩行空間の確保のため、歩道の整備を行います。

事業箇所: 山梨県南都留郡富士河口湖町本栖

延長: 0.5km

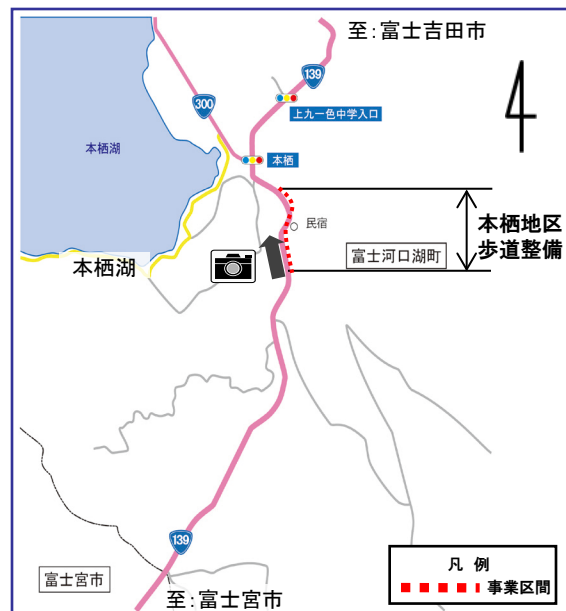
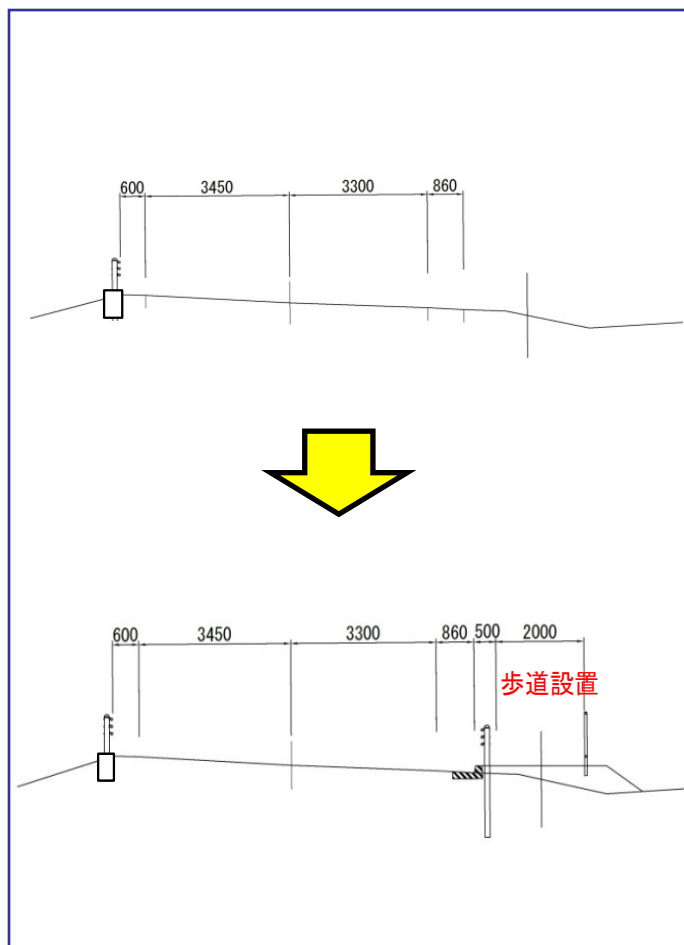
事業効果について、当該箇所に歩道が整備されることにより、歩行空間の連続性が確保されるほか、走行車両の安全性の向上が見込まれます。

【平成25年度の予定】

平成25年度に新規事業化。本年度は調査設計及び歩道設置工事を実施します。



■断面図



■本栖地区の交通状況



国道139号 大田和交差点歩道整備

H25年度事業費:0.69億円

【事業の概要】

国道139号の鳴沢村大田和地区の近傍には小学校があり、歩道が通学路に指定されているが、一部区間で歩道幅員が狭小な区間があり、通学児童等歩行者の安全が確保されていない状況となっています。本事業は、既設歩道の拡幅により、安心・安全に通行できる歩行空間の確保を目的に歩道整備を行います。併せて隣接する大田和西交差点で右折車線の整備を行います。

事業箇所: 山梨県南都留郡鳴沢村大田和

延長: 0.1km

事業効果として、当該箇所は、歩道が整備されることにより、歩行空間の連続性が確保され、通学児童や歩行者の安全・安心の向上が見込まれます。

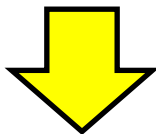
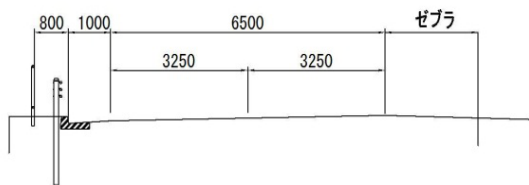
【平成25年度の予定】

平成25年度に新規事業化。本年度は調査設計及び歩道拡幅工事等を実施します。

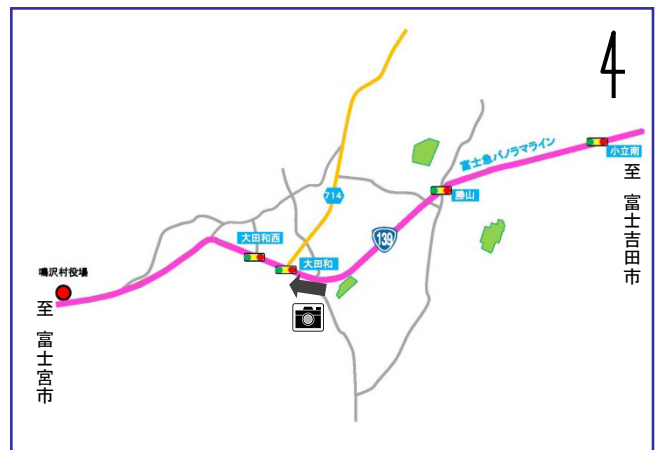
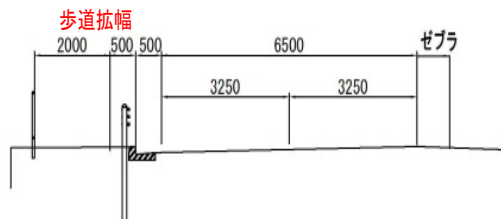


■断面図

【現況】



【計画】



■大田和交差点付近の交通状況



国道138号 山中湖自転車歩行者道整備

H25年度事業費:3.24億円

【事業の概要】

国道138号の山中湖畔沿道には、観光施設や飲食店、駐車場が整備され、観光シーズンには多くの観光客が訪れます。昭和48年より山梨県による山中湖湖岸約14kmを一周する大規模自転車道(サイクリングロード)が計画・整備されてきましたが、当該区間は未整備であるため、歩行者・自転車利用者の安全が確保されていない状況となっています。本事業は、歩行者・自転車利用者の安全確保のため、自転車歩行者道の整備を行います。

事業箇所: 山梨県南都留郡山中湖村
延長: 2.0km

事業効果として、当該箇所は、自転車歩行者道が整備されることにより、自動車との走行空間が分離され、走行安全性の向上が見込まれます。



【平成25年度の予定】

本年度から工事に着手する予定です。また、引き続き調査設計を実施します。



山中湖畔の国道138号の現況
[平成24年5月撮影]



自転車歩行者道の整備イメージ

【その他の交通安全事業】

箇所名	平成25年度の予定
国道 20号 上野原歩道整備	調査設計、歩道設置工事を実施します。
国道 52号 飯野新町交差点改良	調査設計、用地交渉、交差点改良工事を実施します。
国道139号 精進湖入口交差点改良	調査設計、用地交渉を実施します。
国道139号 天神山交差点改良	調査設計、用地交渉、交差点改良及び歩道設置工事を実施します。
国道139号 一本木交差点改良	調査設計、用地交渉、交差点改良工事を実施します。
国道139号 上暮地歩道整備	調査設計、用地交渉、歩道設置工事を実施します。
国道139号 都留文大入口交差点改良	調査設計、用地交渉を実施します。

国道20号 甲斐電線共同溝

H25年度事業費:3.25億円

【事業の概要】

一般国道20号甲斐電線共同溝は、甲斐市市街地の商業施設や住宅の多い地区で、商業業務機能の集積及び都市空間の魅力向上等を目的としたまちづくりを進めているところであり、山梨県の無電柱化事業と連携することにより、地域活性化を支援するとともに無電柱化区間の連続性を図るものです。

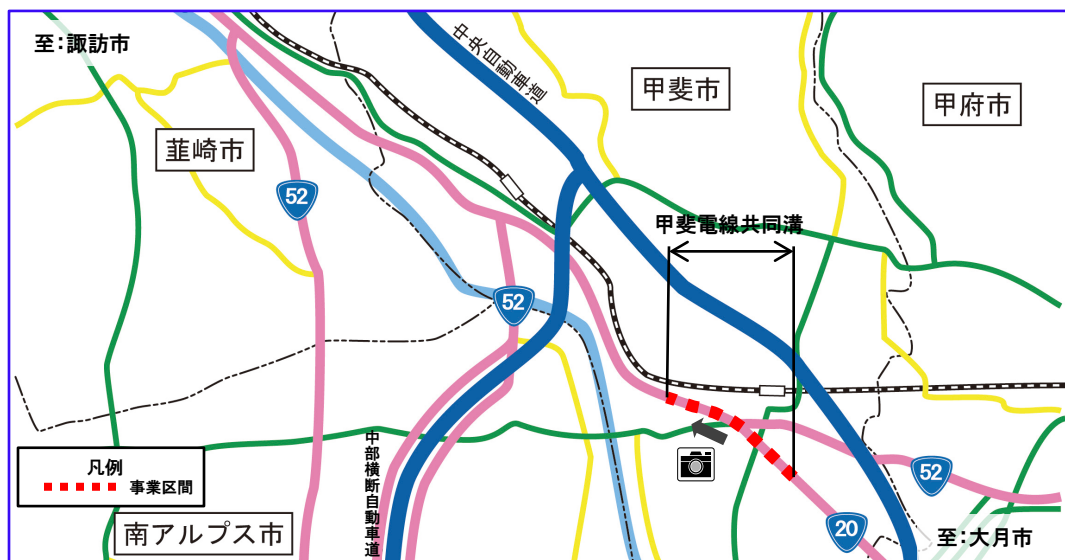
事業箇所: 山梨県甲斐市富竹新田～山梨県甲斐市竜王

延長: 2.6km



【平成25年度の予定】

本年度は、調査設計及び電線共同溝本体工事を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真



甲斐市富竹新田地先 [平成24年11月撮影]

国道20号 甲府電線共同溝

H25年度事業費:0.25億円

【事業の概要】

一般国道20号^{こうふ}甲府電線共同溝は、山梨県の中核都市である甲府市^{こうふ}の東部に位置しており、市街地及びその周辺地区においては、県内の経済活動・防災対応の拠点となるエリアのため、山梨県においても、市街地中心部から国道20号へ向かって電線共同溝の面的な整備を推進しているところです。

このため山梨県と一体となり電線共同溝を整備することにより、都市景観及び防災機能の向上など、地域の活性化を支援するものです。

事業箇所:山梨県甲府市上阿原^{こうふ かみあはら}～同県甲府市蓬沢^{こうふ よもぎさわ}

延長:2.8km

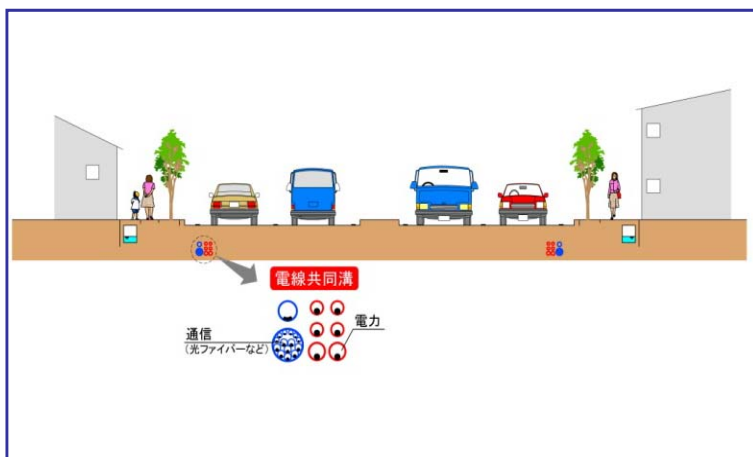


【平成25年度の予定】

本年度は調査設計を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真



国道52号 上石田電線共同溝

H25年度事業費:0.05億円

【事業の概要】

一般国道52号上石田電線共同溝は、甲府市市街地の商業施設や住宅の多い地区に位置しています。上石田改良事業(道路拡幅事業)と一体となり電線共同溝を整備することにより、安全で快適な通行空間の確保を図るものです。

事業箇所: 山梨県甲府市上石田一丁目～甲府市寿町
延長: 2.0km



【平成25年度の予定】

・平成24年度補正予算により電線共同溝本体工事を実施するとともに平成25年度も、引き続き電線共同溝本体工事を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ



■状況写真



甲府市上石田地先[平成24年12月撮影]

国道139号

富士北麓電線共同溝

富士北麓(2)電線共同溝

H25年度事業費:3.55億円

【事業の概要】

一般国道139号富士北麓電線共同溝、富士北麓(2)電線共同溝は、富士山を自然環境や文化的価値の保全及び観光資源として推進するための活動エリアとなっており、山梨県の無電柱化事業と連携することにより、富士北麓地域の観光振興等を図り、安全で快適な通行空間の確保を図るものです。

事業箇所：山梨県南都留郡富士河口湖町船津～富士吉田市上吉田【区間①】

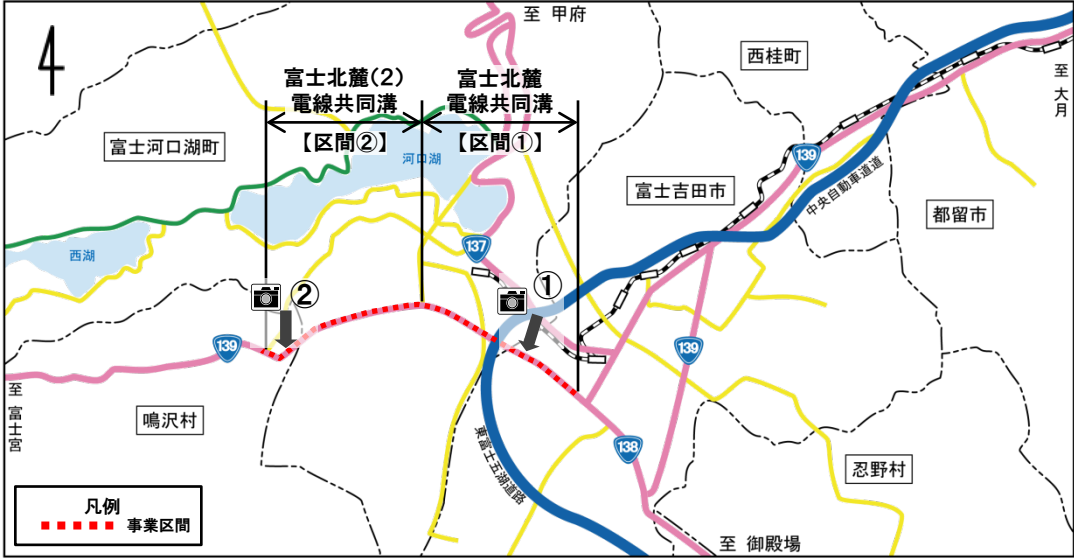
山梨県南都留郡鳴沢村前原～南都留郡富士河口湖町船津【区間②】

延長：7.4km【区間①】、7.1km【区間②】

【平成25年度の予定】

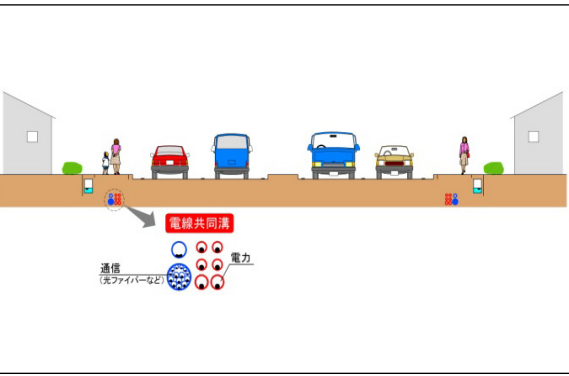
【区間①】 本年度は、電線共同溝本体工事を実施します。

【区間②】 本年度は、調査設計を実施します。



■電線共同溝の整備イメージ

■状況写真



① 富士吉田市上吉田地先
[平成24年3月撮影]

② 南都留郡鳴沢村地先
[平成24年3月撮影]

維持管理

【事業の概要】

甲府河川国道事務所では国道20号、52号、138号、139号の4路線、延長約258kmを管理しており、平成25年度国土交通省予算の基本方針である「復興・防災対策」のうち、「事前防災・減災のための国土強靱化の推進、災害への対応体制の強化等」をふまえ、以下を実施します。

- ①道路管理施設等の総点検
- ②道路施設の老朽化対策等の推進
- ③公共施設の耐震化

また、防災・耐震対策や道路を良好な状態に保全し、安全で円滑な通行を確保するための道路管理及び積雪寒冷地対策等の事業を実施します。

【平成25年度の予定】

○道路管理施設等の点検

- 防災対策 管内防災点検（法面、盛土等）
- 老朽化対策 管内橋梁点検
- 管内トンネル点検



防災点検（法面）実施状況



橋梁点検実施状況



トンネル点検実施状況

○道路施設の老朽化対策等の推進

- 橋梁補修 国道20号 ^{おおつきはし}大月橋補修（^{おおつき}大月市）
- 防災対策 国道20号 ^{はじかの}初鹿野防災（^{こうしゅう}甲州市）



橋梁補修（断面修復）（イメージ）



法面工（イメージ）

維持管理

【平成25年度の予定】

○公共施設の耐震化

耐震補強 国道20号 ^{はやて}疾風橋(笛吹市)



耐震補強(落橋防止装置)(イメージ)



耐震補強(鋼板巻立て)(イメージ)

○日常管理

一般交通に支障をきたさないよう道路を常時良好な状態に保ち、道路利用者などに対して安全で円滑な交通を確保するために、「道路巡回」、「道路清掃」、「除草」、「樹木の剪定」、「除雪」などの各作業を実施します。



道路巡回状況



除雪作業状況



道路清掃作業状況

【平成24年度補正予算での実施内容】

○道路附属物等の総点検

道路標識、照明灯等の点検

○道路施設の老朽化対策等の推進

橋梁補修 国道20号 ^{あさま}浅間橋(^{ふえふき}笛吹市)

防災対策 国道20号 ^{うえのはら}上野原防災(^{うえのはら}上野原市)

国道52号 ^{ふくし}福士防災(^{みなみこまぐんなんぶ}南巨摩郡南部町)

舗装補修 国道20号、52号、138号、139号

○事前防災・減災対策

凍雪害防止 国道139号 ^{もとす}本栖融雪設備改修(^{ふじかわぐちこ}富士河口湖町)